

技術・家庭科 家庭分野 2年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい(時数)	評価の観点	評価規準	主な評価方法
4 5 6 7	<p>【C-2 衣生活の自立】 (10時間)</p> <p>1. 日常着の活用 ・衣服のはたらき ・衣服の構成 ・衣服の入手計画と選び方</p> <p>2. 日常着の手入れ ・汚れと手入れ ・素材と手入れ ・衣服の洗濯 ・衣服の収納・保管 ・衣服の補修(2時間実習)</p> <p>【ねらい】 ○目的に応じて衣服の着方が違うことに理解し、衣服の社会生活上のはたらきを考えることができる。 ○既製服の適切な選択方法を理解することができる。 ○衣服を快適に着用するために、手入れや補修の技能を身に付けることができる。 ○資源や環境を保護する立場から、自分にできることを具体的に考えることができる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>工夫・創造</p> <p>技能</p> <p>知識・理解</p>	<p>・衣服の働きや TPO に合う服装について、自分の考えをもつことができる。 ・知識技能を生かして実習に取り組むことができる。</p> <p>・個性を活かす服装と TPO に合わせた服装を考え表現することができる。 ・自分の衣服の計画や再活用の方法を工夫することができる。</p> <p>・表示を読み取り、洗濯手入れをすることができる。 ・補修を行うことができる(まつり縫い・ボタン付け)。</p> <p>・衣服の働きについて理解している。 ・TPO に合わせた服装を理解する。 ・和服と洋服の構造の違いを理解する。 ・布の性質・特徴を理解する。 ・既製服の表示の意味を理解する。 ・衣服素材の違いや汚れの違いに着目し、それぞれに合った手入れの仕方を理解する。 ・洗剤の働きを理解する。</p>	<p>忘れ物 ワークシート 授業態度</p> <p>ワークシート 定期考査</p> <p>小テスト 定期考査</p> <p>定期考査</p>
9 10 11 12	<p>【C-2 衣生活の自立】 (15時間)</p> <p>3. 布を用いた物の製作 ・製作の計画をたててみよう ・縫う前に・ミシンの準備(実習) ・つくってみよう(実習)</p> <p>【ねらい】 ○身近な衣服を観察し、立体構成と体の関係を理解する。 ○能率的な製作の手順を考えることができる。 ○製作に必要な用具の扱いに十分気をつけて、製作することができる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>工夫・創造</p> <p>技能</p> <p>知識・理解</p>	<p>・自分の生活で実際に使うものを題材として選ぶことができる ・どのように生活で使うのか、製作家庭での工夫点等、考えを示すことができる</p> <p>・自分が製作するものの、デザイン・裁断の仕方、オリジナル点などを考え、作品に自分らしさを表現することができる。</p> <p>・ミシンや手縫いで自分がデザインした作品を作ることができる ・自分のオリジナルを作品に見出すことができる ・自分が立てた計画に沿って、作業をすすめることができる</p> <p>・用具の使い方を理解している ・ミシン糸と針の関係を理解している ・製作工程を理解することができる</p>	<p>忘れ物 作品 作品カード</p> <p>作品 作品カード 定期考査</p> <p>作品</p> <p>定期考査</p>
12 1 2	<p>【C-2 住生活の自立】 (7時間)</p> <p>1. 住まいのはたらき ・住まいの様々な役割 ・共に住まう</p> <p>2. 健康で安全な住まい ・家族の健康と室内環境 ・家庭内の安全</p> <p>3. 住まいと地域 ・災害への備え/災害時の住まいと暮らし ・地域に配慮した住まい方</p> <p>4. これからの住環境</p> <p>【ねらい】</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>工夫・創造</p> <p>技能</p>	<p>・自分の生活を振り返り、室内の健康、安全についての課題点を考えることができる ・自分が行っている防災について考えることができる ・家庭内の危険について自分の生活と照らし合わせて考えることができる</p> <p>・家の中の危険から、家庭内事故防止商品を考えることができる ・気候風土に合わせた住まい方を考えることができる</p> <p>・災害が起きたときの自分の行動をイメージし、周囲の人に伝えておくことができる</p>	<p>忘れ物 ワークシート 授業態度</p> <p>ワークシート 授業態度</p> <p>ワークシート 授業態度</p>

	<p>○住まいや住み方は気候風土や文化によって異なることを理解する。</p> <p>○生活行為と住空間の関係を理解することができる。</p> <p>○室内環境を整えることの必要性に気づき、具体的な改善策を考えることができる。</p> <p>○家庭内事故や震災対策の具体例から安全管理の方法を考えることができる</p> <p>○環境に配慮した住環境を考え、実践していくことができる。</p>	知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの働きについて理解している。</li> <li>・健康で安全な住まいをつくるための知識を身につけている</li> <li>・災害への備え方を理解している</li> <li>・地域に配慮した住まい方を理解している</li> </ul>	定期考査
2 3	<p><b>【B 食生活の自立】</b></p> <p>4. 地域の食材と郷土料理 (3時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本各地の郷土料理</li> </ul>	関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品や調理用具等の安全と衛生に配慮し、調理実習で実践しようとしている。</li> <li>・郷土料理を生活の中で活用しようとしている。</li> </ul>	忘れ物 ワークシート 授業態度
		技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全や環境に配慮して郷土料理・行事食を調理することができる</li> <li>・調理時間や手順を考えて調理することができる</li> </ul>	実習
		知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理・行事食について説明することができる</li> </ul>	定期考査